

2018年7月6日

お客様各位

株式会社セゾン情報システムズ
HULFT 事業部

HULFT for Mainframe と HULFT8 間の通信で発生する修正済みの問題について

HULFT for Mainframe にて以下の事象が判明したため、ご報告申し上げます。内容をご確認いただき、ご対応をお願いいたします。

－ 記 －

1. 発生事象

配信側が HULFT Ver. 8 以上、もしくは HULFT-HUB Ver. 3. 4. 0 以上、かつ集信側が HULFT for Mainframe Ver. 7. 3. 1A 未満の場合、以下のいずれかの事象が発生する場合があります。

- ① 配信側の HULFT において、メモリアクセス例外が発生し、転送が失敗する。
- ② 配信側の HULFT において、タイムアウト時間経過後にメモリアクセス例外が発生し、転送が失敗する。
- ③ 配信側の HULFT において、HULFT からの接続として認識できずに不正な電文として処理され転送が失敗する。

※HULFT-HUB を経由する場合、配信側の HULFT で発生する事象が HULFT-HUB で発生いたします。

2. 発生原因

本事象は、HULFT8 で追加された電文内容に対し、HULFT for Mainframe 側が解釈を正確に行うことが出来ず、メモリ操作を誤ることが原因で発生します。

HULFT8 から追加された動作として、相手側 HULFT に対し初回の通信で「バージョン確認のための電文」を送信し、HULFT8 かそれ以下のバージョンの HULFT かの確認を行います。

HULFT for Mainframe が HULFT8 から送信された「バージョン確認のための電文」に返答するロジックにおいて、メモリの参照範囲の誤りを起因として不正な電文を送信する場合があります。

不正な電文の内容は HULFT for Mainframe 側のメモリ内容に依存するため、正常完了する場合も含み、発生事象に記載した事象のどれかが発生します。

3. 障害発生件数

HULFT8 リリース (2014/12/08) 以降、当該事象のお問合せ件数は2件です。

4. 発生条件

以下の条件 1 または条件 2 のいずれかを満たすと発生する場合があります。

◆条件 1 (下記 2 点を満たす場合)

- ・ 配信側 HULFT の「詳細ホスト情報」の「HULFT7 通信モード」が“無効”。
- ・ 配信側が HULFT8 である。

◆条件 2 (下記 3 点を満たす場合)

- 配信側 HULFT の「詳細ホスト情報」の「HULFT7 通信モード」が“無効”。
- 配信側が HULFT8 である。
- HULFT-HUB Server のバージョンが以下のいずれかであり、配信側 HULFT8 の転送が HULFT-HUB を経由する場合。
 - HULFT-HUB Server for UNIX Ver. 3.4.0 以上
 - HULFT-HUB Server for Linux Ver. 3.4.0 以上

5. 対象製品・バージョン

- HULFT7
 - HULFT7 for MSP Ver. 7.0.1～Ver. 7.3.0B
 - HULFT7 for XSP Ver. 7.0.1～Ver. 7.3.0B
 - HULFT7 for zOS Ver. 7.0.0～Ver. 7.3.0B
- HULFT6
 - HULFT for Mainframe Type MSP Ver. 6.0.1～Ver. 6.3.4
 - HULFT for Mainframe Type XSP Ver. 6.0.2～Ver. 6.3.4
 - HULFT for Mainframe Type OS390 Ver. 6.0.0～Ver. 6.3.4
- HULFT6e
 - HULFT for Mainframe Type OS390-E Ver. 6.0.3～Ver. 6.3.4
- HULFT-SAN
 - HULFT-SAN for Mainframe Type MSP Ver. 6.0.5～Ver. 6.3.4
 - HULFT-SAN for Mainframe Type XSP Ver. 6.0.5～Ver. 6.3.4
 - HULFT-SAN for Mainframe Type OS390 Ver. 6.0.5～Ver. 6.3.4

6. 本不具合の対応について

通信相手である HULFT8 側の管理情報の「詳細ホスト情報」内にあります「HULFT7 通信モード」の設定を“有効”に設定してください。

発生原因で記載した初回の「バージョン確認のための電文」を送出する動作を回避できるため、本障害は発生しません。

なお、HULFT7 以下と HULFT8 との通信において、「HULFT7 通信モード」の“有効”、“無効”、の設定違いによる機能的な制限は発生いたしません。

また、HULFT for Mainframe 側の対応として、以下のバージョンで本不具合のコード修正を実施しております。万が一 HULFT8 側の設定変更が困難な場合は、HULFT for Mainframe 側のリビジョンアップ、バージョンアップをご検討願います。

- HULFT8
 - HULFT8 for MSP Ver. 8.2.0 以上
 - HULFT8 for XSP Ver. 8.2.0 以上
 - HULFT8 for zOS Ver. 8.1.0 以上
- HULFT7
 - HULFT7 for MSP Ver. 7.3.1A 以上
 - HULFT7 for XSP Ver. 7.3.1A 以上
 - HULFT7 for zOS Ver. 7.3.1A 以上

最新のマニュアルやモジュールを入手する場合は、弊社ダウンロードサイトよりダウンロードをお願いいたします。

※ リビジョンアップ版のご提供には、サポート契約の締結が必要となります。

以上